

紙版 ハコブネ×ブックス vol.53

<https://hakobune.wp-x.jp>

ハコブネ×ブックスは児童文学作品・YA作品を未来に語り継ぐ web サイトです。



ソノリディ はじまりのうた

作 者 佐藤いつ子
出版社 KADOKAWA
発 行 2022 年 4 月
ISBN 978-4041124109

review



特集

合唱しようぜ！

中学一年生の女子、早紀（さき）は、吹奏楽部に入っているという理由で、クラス対抗の合唱コンクールの指揮者に選ばれ戸惑います。大人しい早紀は**クラスを引っ張っていく**ことに難渋しますが、音楽の才能がある音心（そうしん）や、女子バスケ部の晴美（はるみ）がフォローしてくれます。晴美が好意を持っている涼万（りやうまん）は、早紀のことが気になっていますが、友人の岳（がく）の手前、男子バスケ部の朝練のために合唱の練習に出られません。一方で早紀は岳のことを好きになったりと、状況は複雑です。自分なりのものを持っている同級生にコンプレックスを抱きながらも、**相手を評価し、好意を寄せ、協調していく姿勢**が描かれます。トラブルに見舞われながらも団結したクラスが、コンクール本番へと向かっていく教室の臨場感にシンクロできる物語です。



夏空に、かんた一た

作 者 和泉智
出版社 ポプラ社
発 行 2017 年 6 月
ISBN 978-4591154786

review



小学六年生の女子、かのんは、地元の子童合唱団「かんた一た」に参加しています。一カ月後に開催されるコンクールを目指して練習中に、指導の先生が入院して棄権しなければならぬ状況に、かのんは、**オペラ歌手として活躍**していた慎治おじさんに手伝ってもらうことを思いつきます。しかし、飲食店で女装して歌を唄うアルバイトの日々を送っている慎治おじさんは、もうひとつ信用できない**大人げない大人**です。ごねながら、結局、指導を引き受けることになった慎治おじさんは、子どもたちの個性を伸ばす独特の指導法で「かんた一た」をコンクールへ、そして唄うことの歓喜へと導いていきます。子どもたちの身体や心の変化の季節。変化していく**自分らしさ**を愛し活かしていくことと、**個性をひとつに合わせる合唱**という営みが**矛盾しない**ことを物語は見せてくれます。



くちびるに歌を
中田永一
小学館 2011 年

バンドやろうぜ！なんてポジティブなノリで、**合唱しようぜ！**とはいかないようです。クラス対抗の合唱コンクールでも、有志参加のクラブ活動でも、**とかく合唱団**はまとまるのが難しく、**混沌の増殖で翻弄**されるものです。人数が多い分、各人の情熱には**温度差**があり、自由に楽しく唄うことだけが正しいとされません。練習しない男子に腹を立てる女子という**対立の構図**もよく見かけますが、**不和からの協調のプロセス**が見どころです。『くちびるに歌を』はこうした合唱物語の完成形ですが、ユニークな発想に彩られた近年の合唱の物語に響く**豊かな音色**にも耳を傾けてください。



中三・ラブソディ

作 者 花里真希
出版社 講談社
発 行 2025 年 9 月
ISBN 978-4065409657

review



中学三年生の女子、季里（きり）はなんでもできる優等生ですが、唯一、**音痴**という欠点がありました。クラス対抗の合唱コンクールでは歌わなくてすみ指揮者になりたかったのに、パートリーダーに任され困惑します。自由曲に選ばれたのは英国のロックバンド、クイーンの名曲『**ボヘミアン・ラブソディ**』。幼い頃に失踪した父親がいつも聞いていた思い出深い曲です。父親のことを知りたくなった季里がクイーンのことをネット上で調べていると、ボーカルの**フレディ・マーキュリー**がイマジナリフレンドとして目の前に現れます。フレディと一緒に発声練習をしなから、次第に父親のことを思い出した季里は、隠されていた真実を知ります。いつも本心を隠して周囲に合わせるきた季里は自分と向き合い、思うさま気持ちを爆発させ、多忙で多感な中三ライブを送っていきます。



若松一中グリークラブ 気になるあの子はトップテノール

作 者 神戸遥真
出版社 岩崎書店
発 行 2025 年 1 月
ISBN 978-4265840557

review



私立中学に入学したばかりの男子、陽翔（ハルト）は、同じ新入生で別のクラスのスカートの制服がよく似合う可愛らしい歩美（アユミ）と知り合います。歩美が合唱部への入部を断られたのは、**女声合唱部には男子である歩美は入れなかった**という真相を知り陽翔は驚きました。歩美は可愛い格好が好きな**女装男子**だったのです。男声合唱サークルを結成しようとする歩美につきあいながら、陽翔は歩美に好意を抱いている自分に気づきます。個性的なメンバーが集まり、少人数ながら**グリークラブ**と名付けたサークルの活動は充実していきます。地元のフェスに参加する直前、歩美の**声変わり**が始まり、高い声が出にくくなった危機をチームワークでどう乗り切るか。仲間たちとハーモニを生み出す中で、人前で歌うことを恥ずかしく思っていた陽翔の気持ちもまた、音楽の飲みに満たされていきます。



遠い空の下、僕らは
おそろのおそろ声を出す
（野中ともそ）
光文社 2023 年

二〇二〇年のコロナ禍の下、ニューヨーク在住の日本人少年、一葉（いち）はアカペラグループの仲間たちとともに Zoom で世界中の高校生たちと繋がり、一緒に歌を唄うプロジェクトに挑みます。同期は難しく、ハーモニは整わなくても、声を合わせて唄う**歓び**がここにあるのです。

特集

合唱しようぜ！



紙版「ハコブネ×ブックス」vol.53

2026 年 2 月 1 日発行 ●発行人 きむらともお

事務系会社員。趣味で児童文学紹介サイト **ハコブネ×ブックス**（非営利）を運営しています。日本児童文学者協会第 6 回児童文学評論新人賞佳作他、諸々を受賞。



お問合せは
こちらから。